

1. 研究名

自閉スペクトラム症の子どもと保護者に対するロールプレイテストの開発(日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 C:17K04241)

2. 目的

自閉スペクトラム症(ASD)の子どもたちの生活のしにくさに対し、SSTが実施されています。現在、SSTの効果指標は、社会的スキルを本人の自己評価や教師や保護者からアンケートを行うことがほとんどです。しかし、実際に子どもたちがどのように状況を認識し、その状況に対する解決策を考え、実際に話すのかといった、ロールプレイを用いた効果指標を作成することが重要であると考えます。また、ASDの子どもを養育する保護者のストレスは多大であるため、ストレス下にある保護者は、家庭の中で子どもと接する際に社会的スキルが十分発揮されているとは言い難い現状と思われます。そのため、ASDの子どもだけではなく、その保護者の社会的スキルを測定することも重要と考えます。この研究では、ASDの子どもと保護者に対するロールプレイテストを開発することを目的としています。

3. 対象

医療機関や専門機関で、自閉スペクトラム症と診断された小学校2～6年生とその保護者です。また、お子さまの知能検査等の結果がIQ70以上の方を対象とします。

4. 内容

研究の説明と同意が得られた後、評価を実施します。評価内容の概要は、以下の通りです。

【保護者】①ロールプレイテスト、②面接、③アンケート2種類

【子ども】①ロールプレイテスト、③アンケート1種類

①ロールプレイテスト:練習課題を含め、5つの場面についてロールプレイを検査者で行い、質問に答えてもらいます。なお、検査は親子別々に実施し、ビデオ録画します。

②面接:保護者に対し、お子様の生活の様子についてお話を伺います。

③アンケート:ロールプレイの待ち時間に、アンケートを実施します。当日、アンケートが終了しない場合は、自宅で実施し、1週間以内に郵送いただきます。その際、1つのアンケートの記入を始めたなら、やめずに最後まで実施してください。

5. 場所

文京学院大学ふじみ野キャンパス 心理臨床・福祉センター「ほっと」 *別紙地図参照
場所のご希望がある場合は、個別に相談させていただきます。

6. 時間

詳細な時間はご協力いただける方に別途ご連絡しますが、2時間ほどで終了する予定です。

7. 期間

2018年12月1日(土)から2019年3月31日(日)までの平日で行います。

(日程は可能な範囲で個別にご相談させていただきます)

8. 倫理的配慮

この研究は、文京学院大学保健医療技術学部倫理審査委員会による、意義、安全性、個人情報保護等についての審査を経て、承認を受けております。

研究の結果は、匿名化した後に解析しますが、個人情報が増えることのないよう厳重に保管されます。また、お越しいただいてから改めて検査の内容を書面にてよく説明し、自由意思で同意していただいてから行います。一旦同意しても、途中で取り下げることも自由にできます。

研究の結果は、学術雑誌への投稿と、学会での発表などの形で公表予定です。

9. 交通費の支払い

研究場所までの交通費は、実費をお支払いいたします。

10. お申し込み先

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196

文京学院大学保健医療技術学部 作業療法学科 准教授 柴田貴美子(研究代表者)

TEL:049-261-6488 Fax:049-261-8923 Email:f-sstkenkyu@bgu.ac.jp